

2023年2月22日

## 大阪広域環境施設組合より、ごみ焼却発電施設の建替・運転委託事業を受注 ～ 高効率ごみ発電により循環型社会・脱炭素社会の構築に貢献 ～

日立造船株式会社を代表とする企業グループは、このほど、大阪広域環境施設組合（管理者：松井 一郎 大阪市長、構成市：大阪市、八尾市、松原市、守口市）より、鶴見工場（ごみ焼却工場）の建替・運転委託事業を受注しました。



【完成イメージ】

本事業は、既存の鶴見工場（1990年竣工）の老朽化に伴い、新たなごみ焼却発電施設（ストーカ式焼却炉、処理能力：620トン/日（310トン/日×2炉））の設計、建設、20年間の運転管理を民間事業者に一括して契約するものです。

新たな施設は「ごみの適正処理」「効率的なエネルギー回収」「環境負荷の低減」「地球温暖化防止対策の推進」などの課題に対処するとともに、公共サービスの水準の向上を図ることを目指しております。

当社は国内最高水準となるボイラーの高温高圧化（6MPa×450℃）をはじめとした発電効率の向上に関する提案や、蒸気タービン発電機などの重要設備を最大浸水深さ以上に配置する設計により、災害発生時にも工場機能を維持するとともに、管理棟を大阪市が指定する水害時避難ビルに指定可能な仕様とし、地域住民にライフラインの提供を行うなどの災害対策に関する提案が総合的に高く評価され受注に至りました。

完成は2029年3月を予定しており、当社および当社のグループ会社である Hitz 環境サービス株式会社が2049年3月まで20年間の運転管理業務を請け負います。

当社は、1965（昭和40）年に日本初のごみ焼却発電施設を大阪市に納めて以降、グループ累計で国内500以上のごみ焼却施設を納めております。ごみ焼却発電はクリーンエネルギーの1つであり、安定電源かつ地産地消の電源としても期待されています。当社はごみ焼却発電施設の普及や研究開発などを通じ、今後とも地域循環型社会の形成に努めていきます。

なお、本件の概要は以下のとおりです。

1. 発注者：大阪広域環境施設組合（管理者：松井 一郎 大阪市長、構成市：大阪市、八尾市、松原市、守口市）
2. 企業グループ：建設JV 日立造船株式会社[代表者]、株式会社大林組[構成員]  
運転JV Hitz 環境サービス株式会社[代表者]、日立造船株式会社[構成員]
3. 建設地：大阪市鶴見区焼野2丁目11番
4. ごみ処理能力：620トン/日（ストーカ式焼却炉：310トン/日×2炉）
5. 事業期間：設計・建設期間 2023年2月～2029年3月  
運転期間 2029年4月～2049年3月
6. 受注金額：497億8,000万円（税抜き）

（終）